

# 世羅町商工会 平成 28 年度経営発達支援事業報告書

## Ⅰ. 経営発達支援事業の内容

### 1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

(課題)

今後は、行政や民間団体の各種調査データ及び当会の既存事業より把握される経済動向について、経営計画の策定や経営支援に活用するためのデータ分析を行う。また、分析された経済動向データを効果的に活用する手法と情報の共有体制を確立させることが課題である。

(事業内容)

(1) 行政や民間団体の各調査データ及び当会の既存事業より把握される経済動向から、次にあげる項目について調査・分析した。

#### ①世羅町統計データブック（世羅町発行の統計データ 毎年8月更新）

- 1)人口及び世帯数、将来人口 → 2040年の人口予測は11,053人（2015年比5,271人減）
- 2)産業別人口及び事業所数
- 3)入込観光客等の推移 → 2015年の総観光客数は8年ぶりに200万人越え

#### ②小規模企業白書（中小企業庁）

- 1)経営者の年齢 → 65歳以上の占める割合が30.8%（60歳以上は44.7%）
- 2)就業者の就業年数 → 従業員規模が小さいほど就業年数は長い傾向
- 3)手取り年収 → 個人事業では経営者の手取り年収が300万円までが60%強

#### ③融資データ（町預託融資制度・公庫）

- 1)町預託融資制度 → 件数は減ったが金額は114百万円増、初めて年間実行額10億円越え
- 2)マル経融資 → 平均利用額は8百万円で推移

#### ④既存事業データ

- 1)確定申告業務 → 265件を業種で分類し売上総利益率、人件費率、外注費率を分析
- 2)世羅とくたく商品券事業 → 事業所アンケート結果
  - ・商品券事業によって来店客が増えたと回答した事業所 28%
  - ・売上の増加につながったと回答した事業所 26%
  - ・コミュニケーションツールとしての活用役に役立ったと回答した事業所 83%

#### ⑤地域金融機関データ（ひろぎん経済研究所発行：カレントひろしま・中国地方の経済、その他機関の発表する統計データ等）

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
世羅町統計データブックの調査・分析	1回	1回	100.0%	A

小規模企業白書の調査・分析	1回	1回	100.0%	A
町預託融資の調査・分析	2回	2回	100.0%	A
マル経融資の調査・分析	2回	1回	50.0%	D
記帳業務データの調査・分析	1回	0回	0.0%	E
確定申告業務データの調査・分析	1回	1回	100.0%	A
世羅とくとく商品券事業の調査・分析	1回	1回	100.0%	A
その他統計データの調査・分析	1回	0回	0.0%	E

## 2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

(課題)

個々の経営指導員により経営分析のやり方にバラツキがあった。今後は、経営状況の分析を一致した手法で行い、事業者の経営実態を客観的に見つめ、問題点の洗い出しを行うため、事業計画策定の入り口となる経営分析を実施することが必要である。経営分析の中で、各事業者の「逸」となりうるものの洗い出しを行うことが必要である。

(事業内容)

- (1) 窓口・巡回業務で受ける各種経営相談
- (2) 経営分析セミナーの開催
- (3) 専門家による個別相談会の開催
- (4) 専門家派遣制度等の活用

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
窓口、巡回訪問件数	2,500件	3,597件	143.9%	A
経営分析セミナー開催数	1回	1回	100.0%	A
経営分析セミナー参加者数	20名	14名	70.0%	C
専門家による個別相談会開催数	2回	9回	450.0%	A
専門家による個別相談会・参加者数	6名	16名	266.7%	A
経営分析に係る専門家派遣回数	20回	16回	80.0%	B
経営分析件数	60件	44件	73.3%	C

## 3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】

(課題)

今後は、持続的経営の発展に必要不可欠となる事業計画の策定に取り組む小規模事業者の掘起しを行うと共に、自社の強み「逸」の創出・成長・発展を目指す事業計画の策定手法を確立させることが課題である。

また、当会では新規創業者に対し、世羅町新規創業支援助成金制度（創業時に要する費用の一部について最大50万円（補助率1/2）を上限として助成）の活用を支援しているが、この申請に係る事業計画は簡易なものである。新規創業者が事業を軌道に乗せ、継続的発展へと繋げるためにも、精度の高い創業事業計画の策定支援の整備が課題となっている。

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
事業計画策定セミナー開催	1回	1回	100.0%	A
事業計画策定セミナー参加者数	20名	14名	70.0%	C
策定に係る個別支援回数	120回	205回	170.8%	A
事業計画策定事業所数	36件	40件	111.1%	A
うち新規創業	6件	6件	100.0%	A

#### 4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

(課題)

今後は、定期的・計画的なフォローアップ体制を確立し、経営課題の把握と適切な支援策を実施することが課題である。

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
フォローアップ実施件数	36社	31社	86.1%	B
フォローアップ実施回数	144回	91回	63.2%	C
各種支援制度利用件数	15件	37件	246.7%	A
経営革新承認件数	6件	0件	0.0%	E
町預託融資実行件数	160件	144件	90.0%	B
マル経融資実行件数	12件	8件	66.7%	C

#### 5. 需要動向調査に関すること【指針③】

(課題)

今後は、連携団体及び民間の各種調査データ、当会の既存事業等から入手できる需要動向について、経営計画の策定や商品開発・販路開拓に活用するためのデータ分析を行い、分析された需要動向データを効果的に活用する手法と情報の共有体制を確立させることが課題である。

(事業内容)

連携団体及び民間の各調査データ、当会の既存事業より把握される需要動向について、次にあげる項目を収集・分析・提供を行うとともに、新商品・新サービスの開発に係る個別相談案件についても需要動向・市場調査を実施し、事業計画の策定及び販路開拓支援に繋げた。

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
商品券事業の調査分析	1回	1回	100.0%	A
道の駅世羅の利用顧客データの調査分析	4回	1回	25.0%	E
新聞等の統計データの調査分析	6件	0件	0.0%	E
個別需要動向調査実施件数(事業者)	24件	41件	170.8%	A

## 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

(課題)

今後は、商品開発・既存商品のブラッシュアップなどの販路開拓に関する支援策のさらなる充実を図り、売上増加に繋げることが課題である。

(事業内容)

- (1) 売れるものづくり⇒「逸」品開発（特産品開発・メニュー開発）
- (2) 売れる場所づくり・場所さがし⇒「逸」の販売チャネル創出
- (3) 売れる人・仕組みづくり⇒「逸」の販売促進
- (4) 連携先支援機関等の実施する事業の活用⇒「逸」サービス・「逸」技術の販路拡大
- (5) 情報発信・プレスリリースに関すること⇒「逸」の情報発信

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
特産品開発数	3件	1件	33.3%	E
商談会・展示会・物産展等への延べ参加事業者数	20社	16社	80.0%	B
商談実施回数	30回	16回	53.3%	D
販売促進セミナー	1回	1回	100.0%	A
HPによる情報発信回数	30回	30回	100.0%	A
広報誌・パブリシティー等への掲載回数	15回	7回	46.7%	D

## II. 地域経済の活性化に資する取組

### 1. デマンド交通事業による活性化

(事業内容)

- (1) 行政（企画課、福祉課）、社会福祉協議会、運行事業者 3 社、商工会による運行会議を開催し、利用者ニーズに合った運行体制の再構築により利用者増加を目指した。
- (2) 利用者が増えることで、商業施設等における消費金額が増加することが推察され、地域商業の活性化につながる。

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
利用者数	33,000 人	28,139 人	85.3%	B

### 2. 世羅とくたく商品券事業による活性化

(事業内容)

- (1) 世羅とくたく商品券事業の実施にあたり、世羅町と協議し事業の原案を確定、当会特別委員会を年間 2 回以上開催し、本事業の実施要領を検討し運営にあたった。
- (2) 全ての商品券取扱事業所において利用されるように、平成 28 年度新たな試みとしてスタンプラリーを実施した。
- (3) 商品券購入希望者が全員購入できるよう、町に対し発行金額の増額を進言し、採択された。

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
利用事業所	195 件	197 件	101.0%	A

### 3. 農商工観連携による活性化

(事業内容)

町内版のビジネスマッチングフェアとしての「農商工観連携セミナー（仮称）」を尾道市農業協同組合と世羅町観光協会との共催により開催する計画であったが、世羅町 6 次産業ネットワークが拡大され当会が参画することとなった。

世羅高原 6 次産業ネットワークと農・商・工・飲食・観等が連携する「オール世羅」の新たな連携と推進体制のスタートを記念して、世羅町 6 次産業化フォーラムが開催され、主任大谷貴紀がパネラーとして参加した。

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
セミナー数	1 回	1 回	100.0%	A
連携数(累計)	0 件	0 件	0%	—

### III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

#### 1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
日本政策金融公庫との連携	2回	2回	100.0%	A
町内金融機関との連携	2回	2回	100.0%	A
尾道税務署との連絡協議会	2回	1回	50.0%	D
備南地区商工会の職員全体会議	1回	1回	100.0%	A
世羅町観光協会との連携	4回	0回	0.0%	E

#### 2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

(1) 広島県商工会連合会及び広島県商工会職員協議会主催の研修への参加

研修名	参加者	研修のねらい
管理職養成研修	事務局長	
相談能力向上研修	課長	
商工会専門スタッフ研修	経営指導員	指導能力の向上
経営革新支援研修	経営指導員	
職員基本能力研修	指導職員・一般職員	
職員パワーアップセミナー	全職員	職員のあるべき姿・資質向上

(2) 中小企業大学校主催の研修への参加

研修名	参加者	研修のねらい
支援担当者専門研修（法人税）	主任 三谷一郎	経営指導能力の向上

(3) 首都圏大型展示会等への視察研修への参加

視 察 先	参加人員	視察研修のねらい
信金合同ビジネスフェア 2016（広島）	2名	販路拡大・商品開発に関する資質向上
ニッポン全国物産展（東京）	2名	
グルメ&ダイニングスタイルショー（東京）	2名	
スーパーマーケット・トレードショー（東京）	2名	
アグリフードE X P O（大阪）	1名	

(4) 支援ノウハウの共有体制強化

(5) 業務終了後に職員全員を対象に、下記の内容等についての研修会を開催した。

- ①平成 28 年度世羅町商工会経営支援メニューについて
- ②ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金の事例について
- ③小規模事業者持続化補助金の事例
- ④町版持続化補助金の事例
- ⑤経営力向上計画について

⑥平成 28 年度第 2 次補正予算について

⑦確定申告時におけるマイナンバーの取扱いについて

### 3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

- (1) 広島県が実施する「商工会マネジメントシート」事業評価システムに沿い、事業評価を分析し検証を行う予定。
- (2) 世羅町、日本政策金融公庫、町内金融機関、中小企業診断士、一般社団法人世羅町観光協会、広島県商工会連合会、商工会により組織する事業評価委員会において、成果の評価を行い、評価結果を委員会において比較検討し見直しをするための P D C A サイクルの仕組みを作り年間 2 回開催した。
- (3) 商工会理事会において、委員会での評価・見直しを報告して承認を受け方針を決定し、総代会へ報告する予定。
- (4) 毎年度の事業終了後に、中国経済産業局、広島県、世羅町へ報告する予定。
- (5) 事業の進捗状況・評価・見直しの結果を常時閲覧できるように商工会報「まるせら」及び商工会公式ホームページ (<http://marusera.com>) にて広報する予定。